

分野	荒廃山地の復旧等の治山			事業番号	4	事業名	山地治山(復旧治山)			
市町村名	小谷村	ふりがな 箇所名	ひめかやおんせん 姫川温泉			事業年度 (完了年度は見込み)	H24 年度 ~	H26 年度		
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	山腹工 0.90ha(岩盤接着工、落石防止網工)				H23年度末 事業進捗率	-			
	H24年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース	-			
	H24年度実施内容	山腹工 0.25ha(岩盤接着工、落石防止網工)				用地補償費ベース	-			
	年度	全体事業費		H22年度まで		H23年度		H24年度		H24年度以降残
	事業費計(千円)	200,000						74,700		200,000
財源内訳	国庫支出金	100,000						37,350		100,000
	その他									
	県債	103,950						33,615		103,950
	一般財源	11,550						3,735		11,550
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価			ランク	評点	
	必要性 (20)	保全対象人家	10戸以上		1~9戸	0戸		B	3	
		保全対象公共施設	2箇所以上		1箇所	なし			3	
		保全対象に災害時要援護者関連施設があるか	重要施設		一般施設	なし			0	
		保全対象(保安林・林業用施設)	「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上		保安林率30%以上50%未満又は流域対策上保全すべき森林あり	保安林率30%未満			7	
		小計							13	
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去5年に1回以上		災害履歴地	なし		A	5	
		交通遮断による地域経済などへの影響	大		中	小			3	
		防災計画上の位置づけ	あり		なし				5	
		小計							13	
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C2.0以上		B/C1.0以上2.0未満	B/C1.0未満		A	7	
		早期発現度	3年未満		3年以上5年未満	5年以上			5	
		流域の総合調整	あり		なし				3	
		小計							15	
	緊急性 (25)	最寄の保全対象までの距離	50m未満		50m以上200m未満	200m以上		A	7	
		地形、地質の状況	火山噴出物、花岡岩、第3紀層、破碎帯かつ地すべり地形		火山噴出物、花岡岩、第3紀層、破碎帯	その他			2	
		平均渓床勾配(平均山腹勾配)	10°以上(30°以上)		5°~10°未満(20~30°未満)	5°未満(20°未満)			3	
		下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)	なし		あり(概ね満砂)	あり(ポケットあり)			5	
		危険地区危険度	Aランク		Bランク	Cランク	なし		4	
		小計							21	
	計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民活動強い		市町村要望有り	特に要望ない		A	10	
		事業情報の共有	関係者以外にも周知		関係者中心に周知	特に周知していない			3	
		住民参加の状況	住民が直接参加		住民市町村意見を反映	住民意見反映していない			3	
		小計							16	
	費用対効果(B/C)	1.38		評価の合計			A		78	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	H7.7月梅雨災害で、保安林内の山腹急崖部から村道に落石が発生。H13~H17に接着工による落石防止対策工事を実施したが、転石等の風化に伴い不安定化が進行し、落石が顕在化。H22.10月には落石が村道に落下。急斜面には不安定化した転石が多く賦存するため、下方人家及び村道の保全のため緊急に対策を講じる必要がある。								
	地域からの要望経緯	平成22年11月、地元住民及び小谷村から、要望があり、三者で現地確認。								
	事業説明等の経緯	過去に実施した治山事業施工時に、数回に渡り落石防止対策事業について説明済み。今後、計画の具体化に合わせ、適宜、事業説明を実施予定。								
	環境・景観への配慮項目	温泉地に位置することから、樹木の伐採を極力回避し、自然景観保全にも配慮した工法を採用する。								
	他事業・プロジェクトとの関連	村道保全の対策として、当該治山工事と平行し、落石防護柵を小谷村が設置する計画である。								
	特記事項	急傾斜地崩壊危険区域、土砂法:急傾斜、特別警戒区域								
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他					
部意見	落石対策を目的とした治山事業施行地であるが、事業実施後6年を経過し、山腹斜面の浸食、風化により、新たな落石が発生している。下方に人家及び村道があることから、緊急に対策を図る必要がある。			政策評価課意見	重要性、緊急性が認められる。					